

平成 15 年 11 月 25 日 記者会見 質疑応答（大阪）

発表内容：平成 15 年度中間決算説明

日 時：平成 15 年 11 月 25 日（火）14 時 26 分～15 時 02 分

場 所：日銀大阪支店 関西金融記者クラブ

発 表 者：川田社長、上林執行役、松沢財務部次長

< 質疑応答 >

Q . 平成 16 年 3 月の不良債権比率は？

A . りそな銀行は 7% 台、埼玉りそな銀行は 3.3% 程度、近畿大阪銀行で 8.5% 程度、奈良銀行で 8.3% 程度の予定です。

Q . 再生ファンドの設立については？年内か？

A . 設立の方向で検討中です。出来れば年内にしたいと思っています。

Q . 今回の不良債権の減少は、そういった仕組みを利用するのか？

A . あらゆる方法を考えております。再生機構や R C C、ファンドの利用など、あらゆる選択肢を利用したいと考えています。

Q . 急激に数字が落ちることになるが、混乱が生じることはないのか？

A . 要管理先の大口債権がこの減少の多い部分ですが、従来からその取引先と交渉をして詰めておりますので混乱はないものと理解しています。

Q . マツヤデンキはスポンサーが決定するなどしているが、りそなの新たな融資計画等は？

A . 個別の案件についてはお答えできません。

Q . 内部調査委員会の結果を中間決算までに発表するとのことであったが？

A . 内部調査委員会については細谷会長直轄の諮問機関であり、東京で会長が発表することなので、ご容赦いただきたい。

Q . りそな銀行、近畿大阪銀行の健全化計画ベースの中小企業向け貸出の数字について？

A . りそな銀行は平成 15 年 9 月期が 8 兆 7,370 億円、平成 15 年 3 月期は 9 兆 9,706 億円、近畿大阪銀行は平成 15 年 9 月期が 1 兆 3,564 億円、平成 15 年 3 月期は 1 兆 6,340 億円、グループ全体で平成 15 年 9 月期は 11 兆 5,998 億円、平成 15 年 3 月期は 13 兆 1,659 億円となっています。

Q . 不良債権残高の来期以降の計画は？

A . 平成 17 年 3 月に 3% 台を目指していきます。りそな銀行で 8,000 億円台、グループ全体で 1 兆 1,000 億円～1 兆 2,000 億円程度です。

Q . 近畿大阪銀行の本店ビルの売却について報道があったが？

A . 売却については計画しています。売却先については交渉中であり、ご容赦願います。

Q . システムのアウトソーシングについて、既にD & Iにアウトソーシングしているが？

A . D & Iには旧大和銀行のシステムをアウトソーシングしているが、旧あさひ銀行のシステム資産はまだ銀行が保有しているため、そのアウトソーシングを検討しているということです。

Q . ミニ店舗網の具体的な実施する場所は？

A . まだ検討中です。

Q . 損益ベースで黒字化するのはいつからか？

A . 通期ではこの15年度は赤字ですが、半期で見るとこの下期から黒字化したいと思っています。また、16年度からは黒字基調を定着させたいと考えています。

以 上